

報告書

HVAC & R JAPAN 2024

ヒーバック&アール ジャパン2024 第43回冷凍・空調・暖房展

2024 1.30 TUE ▶ 2.2 FRI

会場：東京ビッグサイト

ヒーバック

<https://www.jraia.or.jp/hvacr/>

主催：一般社団法人 日本冷凍空調工業会

The Japan Refrigeration and Air Conditioning Industry Association (JRAIA)



H V A C & R に は 未 来 の 答 え が あ る

報告書



ヒーバック&アール ジャパン2024

第43回 冷凍・空調・暖房展 2024.1.30 TUE ▶ 2.2 FRI

東京ビッグサイト 東展示棟1,2ホール 主催：一般社団法人 日本冷凍空調工業会

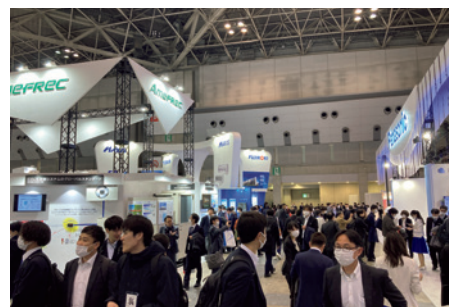
「HVAC&Rには未来の答えがある」をキーワードに、あらゆる温度帯で活躍する、高効率な冷凍・空調・暖房技術が集結。展示会・セミナーとともに盛況裡に終了しました。



東京ビッグサイト入場口



インフォメーション



展示会場内



祝賀レセプション



開会式



HVAC&R アワード表彰式

目次

ごあいさつ	P1
開催概要	P2
来場者概要	P3
会場図	P4-5
出展者一覧	P6-7
情報発信コーナー他 併催企画	P8-9
特別・臨時・基調・一般講演／技術賞セミナー／国際イベント	P10-11
アンケート結果（来場者アンケート／出展者アンケート）	P12-13
HVAC&R アワード受賞者	P14
広報・宣伝活動	P15-17

ごあいさつ

HVAC&R JAPAN 2024を終えて

HVAC&R JAPAN 2024（第43回冷凍・空調・暖房展）は、「HVAC&Rには未来の答えがある」をメインテーマに去る2024年1月30日（火）より2月2日（金）の4日間に渡り、東京ビッグサイトにて開催し、盛況裡に終了いたしました。

本展示会は、空調冷熱業界における唯一の国内専門見本市ですが、海外からも非常に多くのお客様にご来場いただき、来場者数は歴代1位の33,513名、出展企業・団体は東京ビッグサイトでの本展示会としては過去最大規模の149社・団体、出展小間数は766小間となりました。出展企業・団体の皆様からの積極的なご提案・展示と空調冷熱機器に関心の高い多くのユーザーの皆様にご心より御礼申し上げます。

さて、環境問題が世界の共通課題となり、世界的にカーボンニュートラルの意識が高まっている中、各社の展示ブースでは、これからの環境規制に配慮した自然冷媒への転換など最先端の冷媒技術やヒートポンプ技術の様々な用途への適用、各種センサ・マネジメントシステムなどとの組み合わせ、省エネ性・快適性の追求など、新たなビジネスチャンスを広げる新技術や機器が多く展示され、空調冷熱分野の今後のさらなる発展に向けて大いに期待できる内容であったと思います。

また、今回は3回目となるHVAC&R アワード表彰式も開催しています。本アワードは、HVAC&R JAPAN 2024に出展された製品・ソリューション・サービス・パーツ等から応募いただき、展示品を生み出した企業理念、事業活動などを総合的に審査し、優秀な6件を表彰させていただきました。表彰された出展品は昨今の社会的要請が強いカーボンニュートラルや冷媒転換といった課題に取り組み、高い技術力が認められましたが、応募いただいた全ての製品やサービス等にはこれからの空調冷熱機器産業の発展・地球環境保護への貢献を期待いたします。

更に、小池百合子東京都知事による特別講演や、冷媒動向などに関する著名講師による多数の講演・セミナーには延べ2,100人以上に聴講いただき、東京ガススマートエネルギーセンターの施設見学会、今後の空調冷熱業界を担う人材に向けた学生プログラム、国際イベントなども開催し、多くの方々にご参加いただきました。

最後に、このような大成功を収めることができましたのも、出展各社をはじめ、関係各庁、協賛団体、学会ならびに報道機関、そしてご来場いただいた多くのお客様のご支援、ご協力の賜物と重ねて深く感謝申し上げます。次回のHVAC&R JAPAN 2026も東京ビッグサイトで開催いたしますので、今回以上に多くの企業・団体の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

一般社団法人 日本冷凍空調工業会
会長 尋木 保行



開催概要

展示会名称	HVAC&R JAPAN 2024 (ヒーバックアンドアールジャパン) 第43回冷凍・空調・暖房展
会期	2024年1月30日(火)～2月2日(金) 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)
会場	東京ビッグサイト 東展示棟1,2ホール
主催	一般社団法人 日本冷凍空調工業会
後援	経済産業省
展示会規模	149社・団体／766小間
入場料	無料 (公式HPから来場登録が必須)

公式動画 <https://youtu.be/rQGG0ofaL9M>



協賛	ウレタンフォーム工業会 一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター 高圧ガス保安協会 一般財団法人 省エネルギーセンター 一般財団法人 新エネルギー財団 一般社団法人 日本ガス協会 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 一般社団法人 日本機械工業連合会 日本チェーンストア協会 日本冷却塔工業会 一般財団法人 家電製品協会 公益社団法人 空気調和・衛生工学会 一般社団法人 建築設備技術者協会 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 一般社団法人 全国スーパーマーケット協会 一般社団法人 全国建設業協会 全国電機商業組合連合会 一般社団法人 ソーラーシステム振興協会 電気事業連合会 一般社団法人 電気設備学会 一般社団法人 電子情報技術産業協会 一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 公益社団法人 日本空気清浄協会 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 一般財団法人 日本空調冷凍研究所	一般社団法人 日本建設業連合会 一般社団法人 日本産業機械工業会 一般社団法人 日本食品機械工業会 一般社団法人 日本自動車車体工業会 一般社団法人 日本自動販売システム機械工業会 一般社団法人 日本設備設計事務所協会連合会 一般社団法人 日本太陽エネルギー学会 日本暖房機器工業会 一般社団法人 日本電気計測器工業会 一般社団法人 日本電機工業会 一般社団法人 日本熱供給事業協会 一般社団法人 日本バルブ工業会 日本フォームスチレン工業組合 日本フルオロカーボン協会 一般社団法人 日本保温保冷工業協会 一般社団法人 日本ボイラ協会 日本床暖房工業会 公益社団法人 日本冷凍空調学会 一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 一般社団法人 日本冷凍食品協会 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 発泡スチロール協会 一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター 一般社団法人 プレハブ建築協会
----	--	---

(順不同)

来場者概要

来場者数

単位(名)

開催日	2024来場者数
1月30日(火) 晴れ	5,631
1月31日(水) 晴れ	7,464
2月 1日(木) 晴れ	9,705
2月 2日(金) 晴れ	10,713
合計	33,513



海外来場者数

単位(名)

国別	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	全日合計
韓国	137	201	96	31	465
中国	191	126	45	20	382
台湾	18	19	12	6	55
タイ	12	7	7	4	30
フィリピン	1	10	3	5	19
シンガポール	2	5	9	2	18
インドネシア	0	10	2	0	12
イギリス	2	5	3	0	10
マレーシア	3	7	0	0	10
ドイツ	4	2	2	0	8
アメリカ合衆国	1	1	2	3	7
オーストラリア	1	1	3	0	5
インド	0	2	1	0	3
ポルトガル	1	1	1	0	3
モルディブ共和国	0	0	3	0	3
アラブ首長国連邦	0	1	0	1	2
オランダ	1	1	0	0	2
スイス	2	0	0	0	2
トルコ	1	1	0	0	2
ニュージーランド	0	1	0	1	2
ノルウェー	0	1	1	0	2
フランス	0	1	1	0	2
イタリア	1	0	0	0	1
フィンランド	0	0	0	1	1
メキシコ	0	1	0	0	1
ロシア	0	1	0	0	1
合計	378	405	191	74	1,048

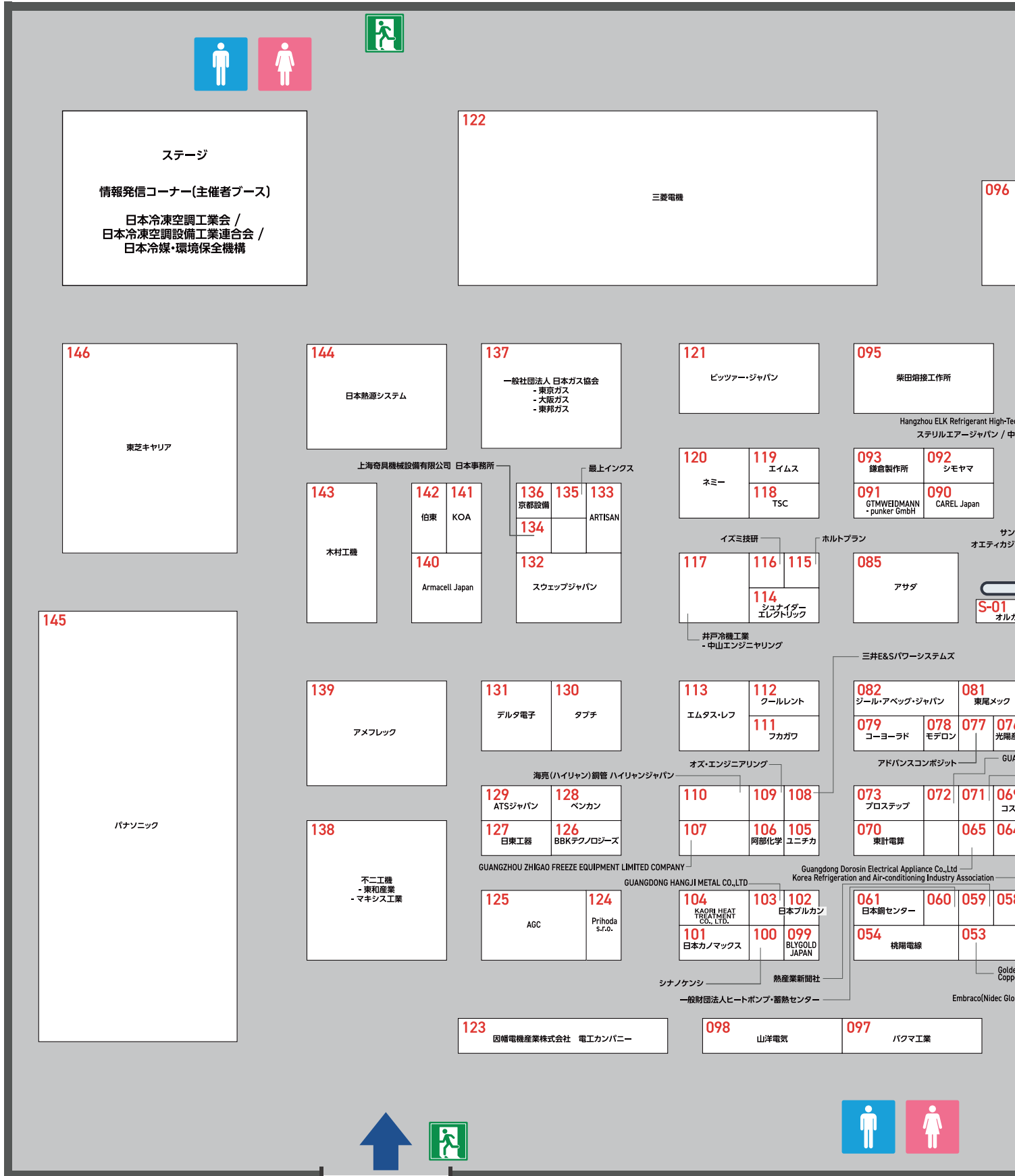
業種内訳

単位(名)

設備・電気・管工事業・保守/関連サービス業	8,622
冷凍空調メーカー・関連機器メーカー	8,406
建設業・建築・施工・工務店	2,237
商社・代理店・流通・小売業・卸売業	6,595
官公庁・自治体・団体・教育/研究機関等	581

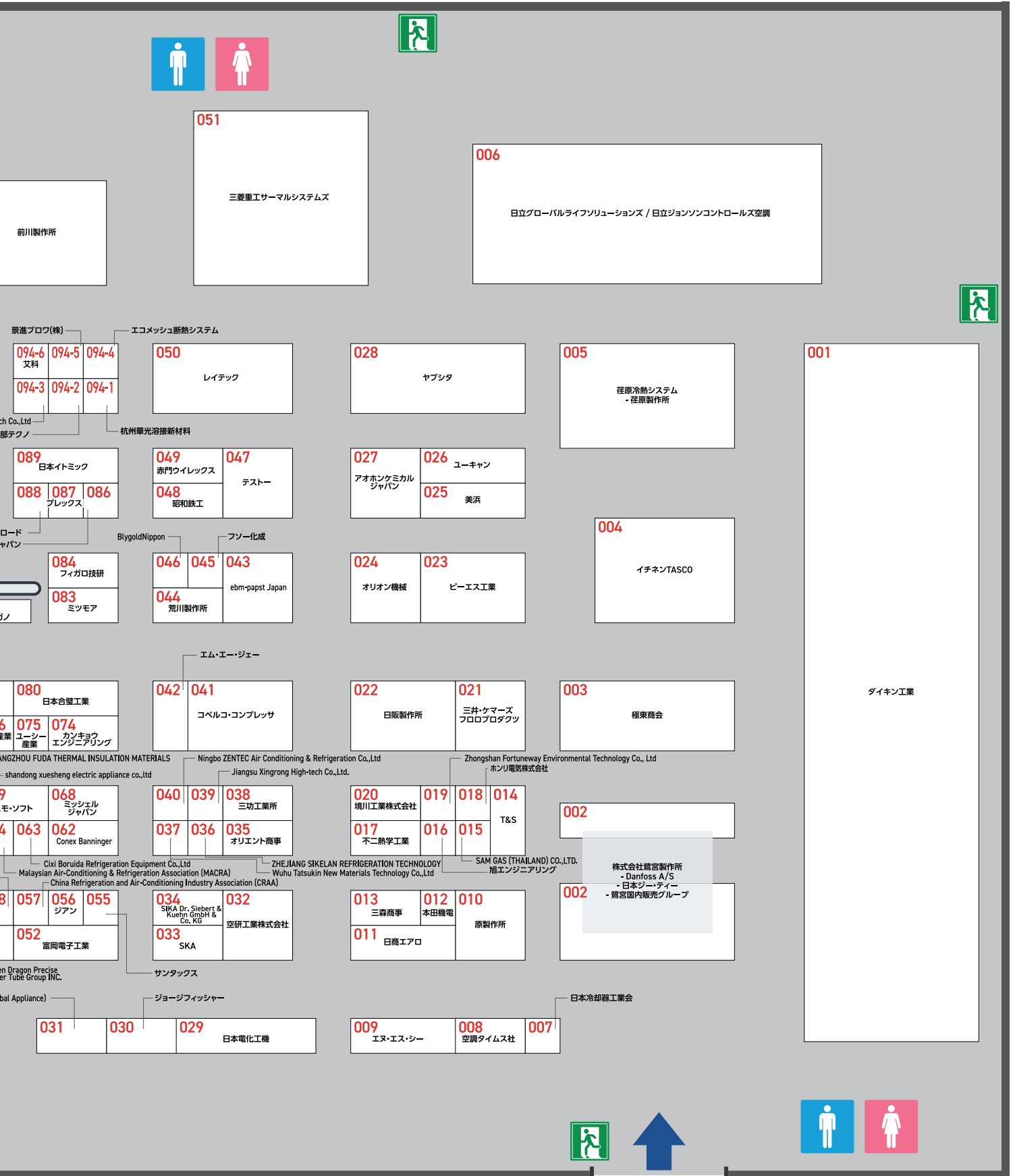
一般製造業(左記以外のビジネスユーザー)	3,193
電力・ガス・エネルギー事業者	1,317
一般非製造業(上記以外のビジネスユーザー)	501
報道・メディア・出版・他プレス関連	182
その他	1,879
合計	33,513

会場図



東展示棟2ホール

インフォメーション・入場登録所



インフォメーション・入場登録所



東展示棟1ホール

出展者一覧

149社・団体/766小間

ア	Armacell Japan株式会社
	アオホンケミカルジャパン株式会社
	赤門ウイレックス株式会社
	アサダ株式会社
	旭エンジニアリング株式会社
	アドバンスコンポジット株式会社
	阿部化学株式会社
	株式会社アメフレック
	株式会社荒川製作所
	株式会社ARTISAN
	株式会社イズミ技研
	株式会社イチネンTASCO
	井戸冷機工業株式会社 - 中山エンジニアリング株式会社
	因幡電機産業株式会社 電工カンパニー
	ebm-papst Japan株式会社
	株式会社エイムス
	AGC株式会社
	ATSジャパン株式会社
	株式会社エヌ・エス・シー
	荏原冷熱システム株式会社 - 株式会社荏原製作所
	エムタス・レフ株式会社
	エム・エー・ジェー株式会社
	オエティカジャパン株式会社
	株式会社オズ・エンジニアリング
	オリेंट商事株式会社
	オリオン機械株式会社
	オルガノ株式会社
カ	艾科株式会社
	株式会社鎌倉製作所
	株式会社カンキョウエンジニアリング
	木村工機株式会社
	CAREL Japan株式会社
	株式会社京都設備
	株式会社極東商会
	景進ブロワ株式会社
	空研工業株式会社
	株式会社空調タイムス社
	株式会社クールレント
	光陽産業株式会社

	KOA株式会社
	株式会社コーヨーラド
	株式会社コスモ・ソフト
	コベルコ・コンプレッサ株式会社
サ	株式会社最上インクス
	境川工業株式会社
	株式会社鷺宮製作所 - Danfoss A/S - 日本ジー・ティー株式会社 - 鷺宮国内販売グループ
	株式会社三功工業所
	サンタックス株式会社
	山洋電気株式会社
	株式会社サンロード
	株式会社ジアン
	株式会社GTMWEIDMANN - punker GmbH
	ジール・アベッグ・ジャパン株式会社
	シナノケンシ株式会社
	有限会社柴田熔接工作所
	株式会社シモヤマ
	上海奇具機械設備有限公司 日本事務所
	シュナイダーエレクトリック株式会社
	昭和鉄工株式会社
	ジョージフィッシャー株式会社
	スウェップジャパン株式会社
	ステリルエアージャパン株式会社/ 株式会社中部テクノ
タ	ダイキン工業株式会社
	株式会社タブチ
	株式会社T&S
	TSC株式会社
	株式会社テストー
	デルタ電子株式会社
	株式会社東計電算
	東芝キャリア株式会社
	桃陽電線株式会社
	株式会社富岡電子工業
ナ	日商エアロ株式会社
	日東工器株式会社
	日本ブルカン株式会社
	株式会社日本イトミック

一般社団法人 日本ガス協会
- 東京ガス株式会社
- 大阪ガス株式会社
- 東邦ガス株式会社
日本カノマックス株式会社
日本合璧工業株式会社
日本電化工機株式会社
一般社団法人日本銅センター
日本熱源システム株式会社
日本冷却器工業会
一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会
一般財団法人日本冷媒・環境保全機構
有限会社熱産業新聞社
ネミー株式会社
ハ 海亮(ハイリヤン)銅管 ハイリヤンジャパン株式会社
伯東株式会社
バクマ工業株式会社
パナソニック株式会社
株式会社原製作所
ピーエス工業株式会社
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター
BBKテクノロジーズ株式会社
東尾メック株式会社
株式会社日阪製作所
日立グローバルライフソリューションズ株式会社/ 日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
株式会社ビッツァー・ジャパン
フィガロ技研株式会社
株式会社フカガワ
株式会社不二工機
- 東和産業株式会社
- 株式会社マキス工業
不二熱学工業株式会社
フソー化成株式会社
BlygoldNippon株式会社
株式会社プレックス
プロステップ株式会社
株式会社ベンカン
ホルトプラン合同会社
本田機電株式会社
マ 株式会社前川製作所
三井・ケマーズフロロプロダクツ株式会社

株式会社三井E&Sパワーシステムズ
ミッセルジャパン株式会社
三菱重工サーマルシステムズ株式会社
三菱電機株式会社
株式会社ミツモア
三森商事株式会社
美浜株式会社
モデロン株式会社
ヤ 株式会社ヤブシタ
ユーキャン株式会社
ユーシー産業株式会社
ユニチカ株式会社
ラ レイテック株式会社
海外 China Refrigeration and Air-Conditioning Industry Association (CRAA)
Cixi Boruida Refrigeration Equipment Co.,Ltd
Conex Banninger
EcoMESH Adiabatic Systems
Embraco (Nidec Global Appliance)
Golden Dragon Precise Copper Tube Group INC.
Guangdong Dorosin Electrical Appliance Co.,Ltd
GUANGDONG HANGJI METAL CO.,LTD
GUANGZHOU ZHIGAO FREEZE EQUIPMENT LIMITED COMPANY
Hangzhou ELK Refrigerant High-Tech Co.,Ltd
Hangzhou Hua Guang Advanced Welding Materials Co., Ltd
Hongli Electric Co.,Ltd
Jiangsu Xingrong High-tech Co.,Ltd.
KAORI HEAT TREATMENT CO., LTD.
Malaysian Air-Conditioning & Refrigeration Association (MACRA)
Prihoda s.r.o.
SAM GAS (THAILAND) CO.,LTD.
shandong xuesheng electric appliance co.,Ltd
SIKA Dr. Siebert & Kuehn GmbH & Co. KG
SKA Co., Ltd.
the Korea Refrigeration and Air-conditioning Industry Association
Wuhu Tatsukin New Materials Technology Co.,Ltd
ZHEJIANG SIKELAN REFRIGERATION TECHNOLOGY
Zhongshan Fortuneway Environmental Technology Co., Ltd

開会式

日 時	2024年1月30日(火) 9:50~10:00	
場 所	東京ビッグサイト 東展示棟2ホール入口前	
テープカッター	経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長 (一社) 日本冷凍空調工業会 会長 (一社) 日本冷凍空調工業会 副会長 (一社) 日本冷凍空調工業会 政策審議会 会長	安田 篤 尋木 保行 澤井 克行 渡辺 由則



参加者 約100名

祝賀レセプション

日 時	2024年1月30日(火) 11:15~12:00	
場 所	有明セントラルタワー3階 レセプション1	
主催者挨拶	(一社) 日本冷凍空調工業会 会長	尋木 保行
来賓ご挨拶	経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長	安田 篤



参加者 約60名

情報発信コーナー

今回は「公益社団法人日本冷凍空調学会」、「一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会」、「一般財団法人日本冷媒・環境保全機構」と連携し、各団体のPRの場として展開いたしました。

また、HVAC&R アワード表彰式を実施いたしました。



海外講演者との交流パーティ

日 時	2024年1月31日(水) 17:00-	
参加者	約40名	

国際イベント終了後、有明セントラルタワー内にて、海外工業会関係者 (MACRA/CRAA/KRAIA)、出展者・来場者、当工業会関係者との交流パーティを実施しました。中村瞳子さんによるフロン法のうたを披露しました。



東京ガススマートエネルギーセンター施設見学会

日 時 2024年1月30日(火) 及び 2月1日(木)

参加者 合計21名

1回目……14:40 東京ガススマートエネルギーセンター前集合 16:30終了 現地解散
参加者：10名

2回目……9:50 東京ガススマートエネルギーセンター前集合 11:30終了 現地解散
参加者：11名



出展者プレゼンテーション

情報発信コーナー内ステージにて、出展者プレゼンテーション（4社4回）、JRECO（一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構）プレゼンステージ8回、実施。

時間	講演名
▼ 1月30日(火)	
13:00～13:30	主催者情報発信【JRECO】プレゼンステージ 1-1
15:00～15:30	主催者情報発信【JRECO】プレゼンステージ 1-2
▼ 1月31日(水)	
11:00～11:45	出展者【スウェップジャパン】プレゼンステージ
12:00～12:30	主催者情報発信【JRECO】プレゼンステージ 2-1
13:00～13:30	出展者【ジョージフィッシャー】プレゼンステージ
14:00～14:30	主催者情報発信【JRECO】プレゼンステージ 2-2
15:00～15:45	出展者【モデロン】プレゼンステージ
▼ 2月1日(木)	
11:00～11:30	主催者情報発信【JRECO】プレゼンステージ 3-1
▼ 2月2日(金)	
11:00～11:30	主催者情報発信【JRECO】プレゼンステージ 4-1
12:30～13:00	主催者情報発信【JRECO】プレゼンステージ 4-2
14:00～14:45	出展者【三森商事】プレゼンステージ
15:30～16:00	主催者情報発信【JRECO】プレゼンステージ 4-3

学生プログラム

主要出展や特別テーマ展示、HVAC&R アワード受賞製品といったテーマに沿ったブースを巡るスタンプラリー企画やオンリーワン企業を紹介する特別セミナーを開催しました。スタンプラリーは60名の参加があり、特別セミナーは2企業に実施いただきました。



プレミアムラウンジ

場 所 有明セントラルタワー

SNS登録された方がご利用いただけるスペースで、休憩・商談スペースとしてもご利用いただきました。



その他

会期中、当工業会会長及び幹部と韓国KRAIA幹部とのミーティング、中国CRAA及びマレーシアMACRAの4カ国の工業会メンバーにて会食を実施。

特別講演

2月1日(木)

特別講演 10:15 ~ 10:30

東京が目指す持続可能な未来

東京都知事
小池 百合子



臨時講演

1月30日(火)

臨時講演 13:00 ~ 13:45

業務用建築物の脱炭素改修加速化事業
(脱炭素ビルリノベ事業) について

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 課長補佐
菊池 豊

2月1日(木)

臨時講演 13:00 ~ 13:45

業務用建築物の脱炭素改修加速化事業
(脱炭素ビルリノベ事業) について

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 課長補佐
菊池 豊

基調講演

1月30日(火)

基調講演Ⅰ 14:00 ~ 14:45

地球温暖化をめぐる内外情勢と
日本の課題

東京大学公共政策大学院 特任教授
有馬 純



基調講演Ⅱ 15:00 ~ 15:45

令和5年度
省エネ支援策パッケージについて

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
省エネルギー課 課長補佐 渡邊 雄一



基調講演Ⅲ 16:00 ~ 16:45

電気学会JEC標準案によるビルマル群
FastADRシステム

N研究所株式会社 代表取締役社長/岐阜大学客員教授
蜷川 忠三



1月31日(水)

基調講演Ⅳ 11:00 ~ 11:45

どう創る? 持続可能な社会

日本科学技術ジャーナリスト会議 会長
室山 哲也



基調講演Ⅴ 14:00 ~ 14:45

冷凍空調用冷媒をめぐる
最近の状況と展望

国立研究開発法人産業技術総合研究所 上級主任研究員
滝澤 賢二



2月1日(木)

基調講演Ⅵ 11:00 ~ 11:45

ネットゼロ排出目標に向けた世界の気候変動対策
~温室効果ガスと短寿命気候強制因子の同時削減へ~

国立環境研究所 社会システム領域 室長
花岡 達也



基調講演Ⅶ 14:00 ~ 14:45

建築とカーボンニュートラル

千葉大学 名誉教授
川瀬 貴晴



2月2日(金)

基調講演Ⅷ 11:00 ~ 11:45

デジタル社会および低炭素化における
BEMSの動向

豊田SI技術士事務所 所長
豊田 武二



講演

1月30日 火

講演① 14:00～14:30

カーボンニュートラル2050を目指す
冷凍空調業界の課題と対応について

一般社団法人 日本冷凍空調工業会 専務理事
岡田 哲治

講演② 15:00～15:45

ビル用マルチエアコンの
低GWP冷媒採用に向けた取り組み

一般社団法人 日本冷凍空調工業会
A2Lビル用マルチ合同プロジェクト

講演③ 16:00～16:45

空調機のモーター技術の変遷と
今後の展望

ダイキン工業株式会社 技師長
山際 昭雄



1月31日 水

講演④ 10:00～10:45

R290対応多用途冷却装置用凝縮器
ユニットについて

三菱電機冷熱応用システム株式会社 専任
保坂 恵子



講演⑤ 13:00～13:45

ビル用マルチエアコンの
低GWP冷媒採用に向けた取り組み

一般社団法人 日本冷凍空調工業会
A2Lビル用マルチ合同プロジェクト

講演⑥ 14:45～15:30

世界の環境法規制と日冷工のグローバル活動

一般社団法人 日本冷凍空調工業会 国際部 部長
笠原 秀晃

講演 15:00～15:45

フロン排出抑制法遵守と電子管理ツール
RaMSの活用

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 (JRECO)
企画・調査部長 野口 周作

2月1日 木

講演⑦ 10:00～10:45

ビル用マルチエアコンの
低GWP冷媒採用に向けた取り組み

一般社団法人 日本冷凍空調工業会
A2Lビル用マルチ合同プロジェクト

講演 16:00～16:45

フロン排出抑制法の
最近の動向について

一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 事務局長
大沢 勉



2月2日 金

講演⑧ 10:00～10:45

ビル用マルチエアコンの
低GWP冷媒採用に向けた取り組み

一般社団法人 日本冷凍空調工業会
A2Lビル用マルチ合同プロジェクト

講演⑨ 13:00～13:45

ターボ冷凍機の低GWP化に向けた
現状と今後の展望

三菱重工サーマルシステムズ株式会社 大型冷凍機技術部
設計課 主席技師 梅野 良枝



技術賞セミナー

2月1日 木

技術賞セミナー 13:00～15:30

技術賞セミナー

日本冷凍空調学会

国際イベント

1月31日 水

国際イベント 15:30～17:00

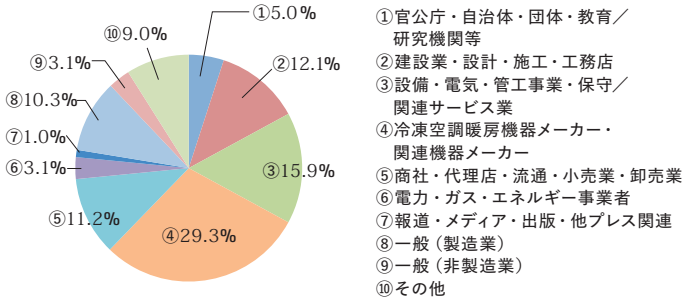
国際イベント

各海外工業会講演

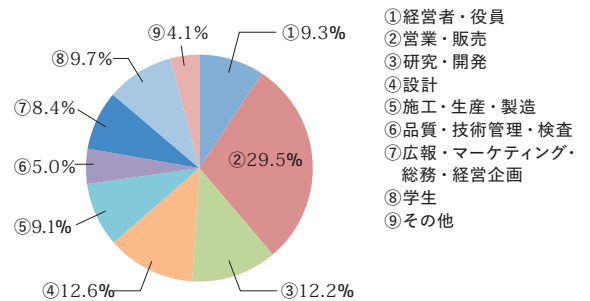
アンケート結果

来場者アンケート (有効回答者数: 580)

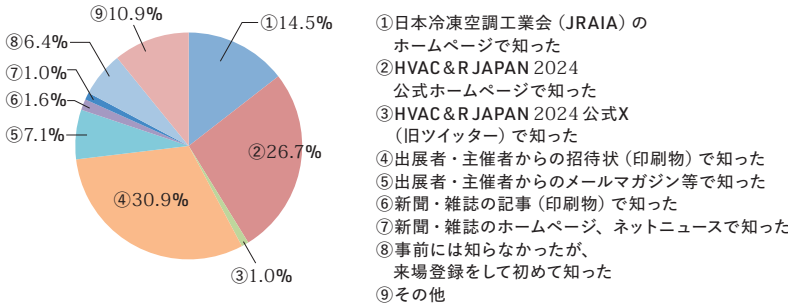
Q1 あなたの業種(属性)を以下から選んでください



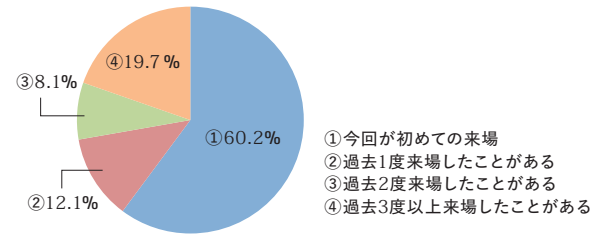
Q2 あなたの職種(属性)を下記から選択してください。



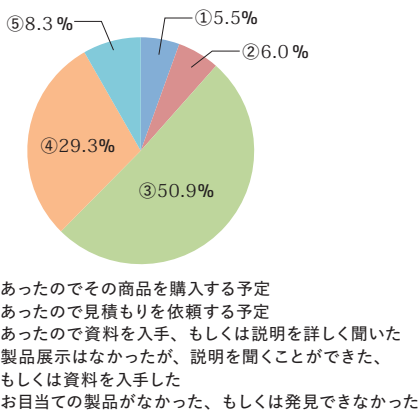
Q3 HVAC&R JAPAN 2024の開催はどこでお知りになりましたか?



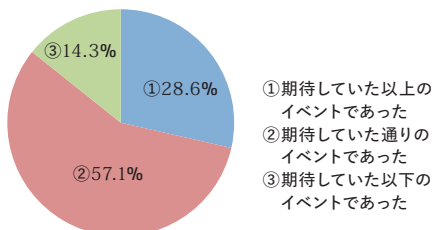
Q4 過去も含めて、HVAC&R JAPANへの来場頻度を教えてください



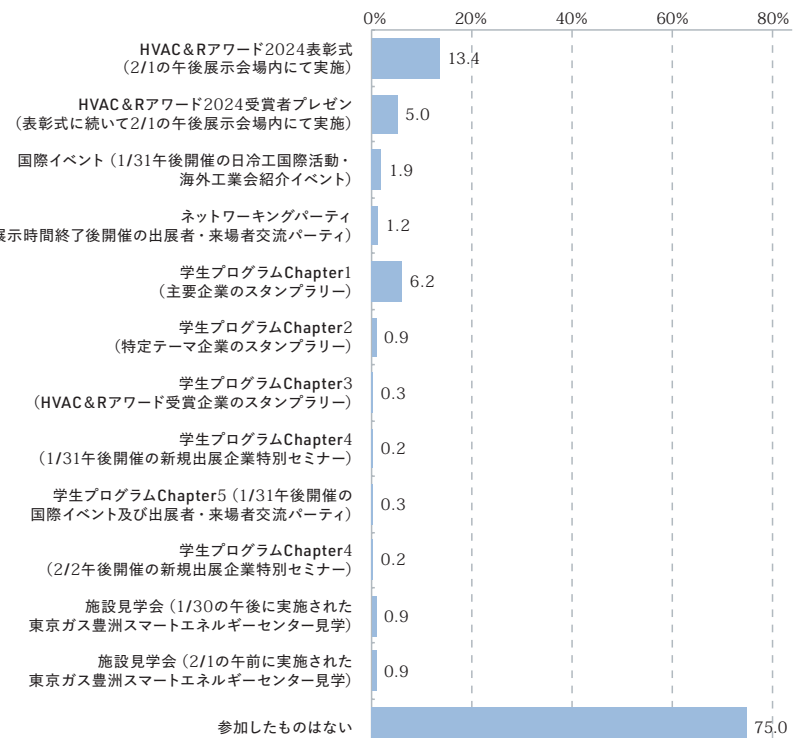
Q5 お目当ての出展物・情報はございましたか。



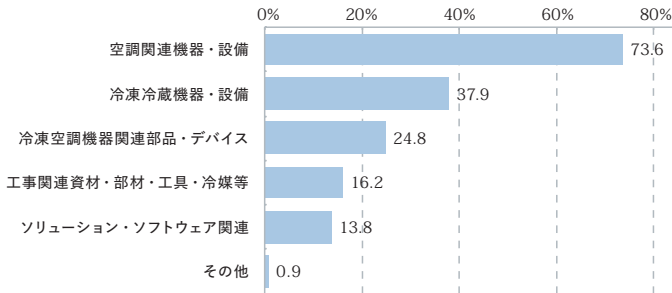
Q6 あなたが参加されたネットワーキングパーティ(1/31展示時間終了後開催の出展者・来場者交流パーティ)について評価をお聞かせください。(n=7)



Q7 以下の併催行事のうち、今回あなたが参加されたイベントについて全て選択してください。



Q8 お目当ての出展物の種類は何ですか

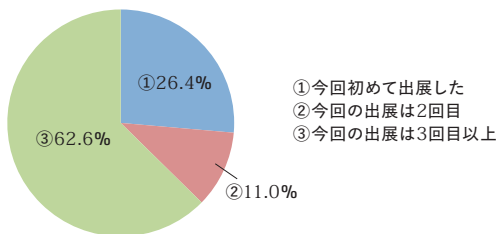


来場者の声

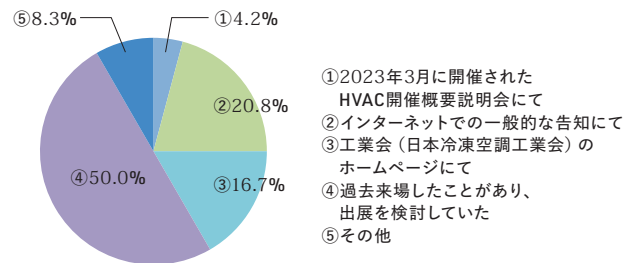
- 毎年開催して欲しい
- 次も楽しんでいます
- 空調等に特化した展示会でフロン法令などに係るシステム等とても勉強になりました
- いろいろな情報が得られ勉強になりました。
- 開催有難うございます
- 国内外の冷媒事情についてもっと知りたいです。
- 展示内容を一部でも良いのであらかじめ知りたかった。

出展者アンケート (有効回答者数：91)

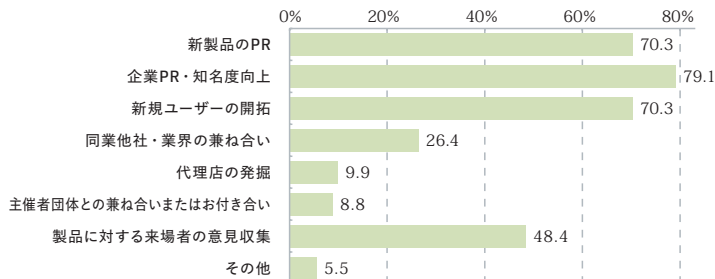
Q1 今回の出展は何回目になりますか?



Q2 初めて出展したとお答え頂いた方にお聞きます。本展示会をどこでお知りになりましたか? (n=24)



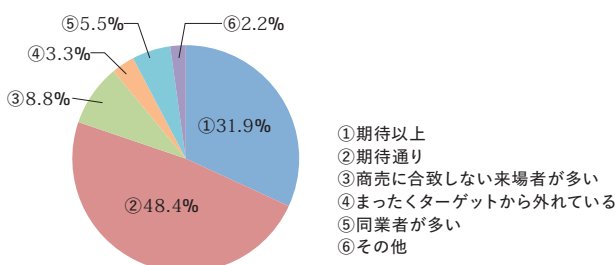
Q3 今回出展された目的について教えてください。(複数回答可)



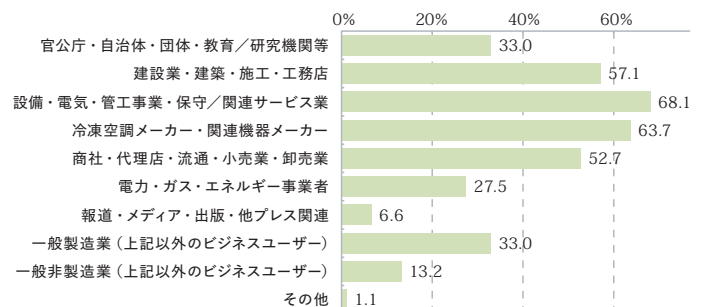
Q4 前問でのお答えについて、想定していた人数に対していかがでしたか?



Q5 来場者に対する満足度は如何でしたか?



Q6 希望される来場者の業種についてお答えください。



出展者の声

- 日数は3日でも良い。毎年でも良い(開催地を変えるなど)次回はより広いスペースを予定。
- また機会があれば出展したい。
- QRコード読み取りサービスの無料提供が大変助かった。次回も有るならタブレットとWi-Fi環境の準備も考えてみたい。
- 今回来場者情報の取得をバーコード読み取り主体で行

- いましたが、使い勝手が良かったです。
- 今回は来場者が多く時間が足らなかつたように思います。9時~17時にしていただくとより良いように感じました。
- 事務局のスタッフの方々にご丁寧なご対応を頂きまして誠にありがとうございました。
- 入場用の名札のデザインで、会社名が小さくて分かりにくかったです。隠してる人もいたので、同業が顧客か分

- かりにくいと思います。
- 同日程で開催されている展示会とのコラボレーション等があると、来場するお客様に一体感が提供できると思います。
- 今回初出展でしたが、日冷工(JRAIA)様には色々ご配慮等いただき、どうもありがとうございました。結果、予想を大きく上回る反響をいただけたので当社としては出展大成功でした。

HVAC&R アワード受賞者

HVAC&R JAPAN2024の出展者から応募のあった、製品・技術・サービスから、「製品部門」「ソリューション・サービス部門」「パーツ・デバイス・工法・その他部門」の各部門で計6件が受賞いたしました。

製品部門



荏原冷熱システム株式会社／ 株式会社荏原製作所

水素焚吸収冷温水機の開発

▶ アピールポイント

低炭素・脱炭素社会実現に向けて、次世代クリーンエネルギーとして期待されている水素を燃料とした世界初の水素焚吸収冷温水機です。水素を燃料とすることで、燃料の燃焼に伴うCO₂を排出ゼロとし、全燃焼領域において都市ガス相当の低NO_x化を達成しました。都市ガス用の安全装置に加え、水素配管への逆火防止装置を標準装備するとともに、停止中にガス管内が水素と空気の可燃性混合気に満たされないように、不活性ガスを注入する機能を追加するなど、水素用の安全設計がなされています。

https://www.ebara.co.jp/corporate/newsroom/release/company/detail/1215051_1673.html

ダイキン工業株式会社

外気処理換気システム『Saravia』

▶ アピールポイント

『Saravia (サラビア)』はZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) 向けに開発した製品。

ヒートポンプ熱交換器を一体化した外気処理機能を有しており、換気の際に高温・高湿の外気を宅内に取り込む前段階で効率良く除湿・温度調整することができ、換気による温湿度の変化を抑え、快適性を保つことができる。

これらの性能・機能が2022年度省エネ大賞の製品・ビジネスモデル部門で最高位の“経済産業大臣賞”を受賞した。

ソリューション・サービス部門



株式会社イチネンTASCO

可燃性 (A3) 冷媒採用機器からの 簡易回収システム

▶ アピールポイント

可燃性 (A3) 冷媒は修理や廃棄時に機器から安全に屋外排出する事が必要だが、特に機器を簡単に屋外に持ち出せない、かつ近くに窓が無いビルの地下等では安全に冷媒を排出できなかった。これらの課題を安全にクリアし、GWPの小さな冷媒へ転換・普及を後押しするシステム。

三菱重工サーマルシステムズ株式会社

産業用ヒートポンプによる工場脱ボイラの取り組み

▶ アピールポイント

本取組は、工場の生産設備熱源を自社製の産業用ヒートポンプに転換し、省エネと工場の脱蒸気ボイラを達成した7年にわたる活動です。取り組みにおいては、単に熱源を置き換えるだけでなく、あえて複数の手法を試行して運転データを測定することにより、熱源容量や熱交換器の選定、応用策である冷排風の空調利用などに資する知見を取得しました。

省エネ成果も、熱源使用設備においてはCO₂排出量約40%削減を実現しています。

今回のサーマルソリューションをワンパッケージとして、同様の工場への営業活動をしていきます。

パーツ・デバイス・工法・その他部門



株式会社鷺宮製作所

HSK形圧力センサ

▶ アピールポイント

カーボンフリー社会実現が求められる中、温暖化係数GWPの低いCO₂冷媒に対応した汎用性の高い高精度圧力センサを開発しました。CO₂冷媒は低GWP冷媒であるものの超高压で使用されるため高い安全性が必要です。

また、ヒートポンプ給湯や冷凍冷蔵など様々な温度帯で使用される冷媒であるため、高温から低温まで広温度域への対応が必要です。更に、環境性、経済性の観点から高効率システム運転が求められる中、圧力センサへの高精度化が求められます。

HSK形圧力センサは高い安全性、広範囲の温度対応、高い精度、汎用性を実現した製品です。

ダイキン工業株式会社

耐震振れ止め金具

▶ アピールポイント

東日本大震災以降、建設設備に対しては耐震施工が施されるようになったが、天吊り空調機に用いられる全ねじボルトを用いた耐震施工方法は時間がかかることが課題となっていました。

『耐震振れ止め金具』は業界初 空調機メーカーが開発した商品で、全ねじボルトを使わない新構造を採用することで、従来施工時間に比べて50%以上短縮し、東日本大震災の150%の地震波にも耐えることが出来ます。

施工性・耐震性の両面から安心してご使用いただける商品です。

広報・宣伝活動

当工業会によるプロモーション活動の他、各メディアをはじめ、関係各社・団体のご協力を得て、多面的な広報展開を実施しました。

各種広報ツール



▲ホームページTOP



▲来場案内



▲開催ポスター



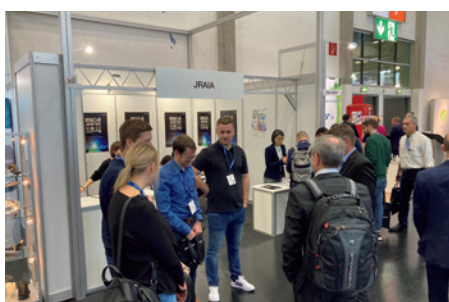
▲パンフレット(出展案内)



◀会場MAP
[入場口にて配布]

海外プロモーション

HVAC&R JAPAN 2024のPRブースとして「Chillventa 2022 (ドイツ)」、「MARVEX2023 (マレーシア)」「HARFKO2022 (韓国)」に出展。アジアをはじめ世界各国の企業と交流をはかり、HVAC&R JAPAN 2024へのグローバルな出展勧誘及び来場プロモーションを実施しました。



Chillventa 2022 (ドイツ)



MARVEX2023 (マレーシア)



HARFKO2022 (韓国)

新聞・雑誌・WEBへの広告・特集記事掲載

広告媒体

▼総媒体数 (21社)

No.	媒体名	刊行日
新聞		
1	日刊工業新聞	1月23日
2	空調タイムス	12月6日, 1月1日, 1月17日, 1月24日, 1月30日
3	経産新報	12月25日
4	電波新聞	1月22日
5	日本設備工業新聞	1月15日
6	熱産業経済新聞	1月1日, 1月5日, 1月15日, 1月25日
7	建設通信新聞	1月23日
8	電材流通新聞	1月19日
9	ガスエネルギー新聞	1月15日
10	日本物流新聞	1月10日
専門誌		
1	エネルギーフォーラム	1月1日
2	スマートハウス	1月20日
3	冷凍	12月15日
4	空衛	1月20日
5	空気調和・衛生工学	1月5日
6	冷凍空調設備	1月15日
7	月刊BE建設設備	1月1日
8	JARN (ジアン)	11月25日
WEB		
1	eJARN	2023年12月1日~2024年2月2日
新規媒体		
1	建設設備と配管工事	12月5日, 1月5日
2	蓄熱情報誌COOL&HOT	12月初旬

出稿面(一部抜粋)

▼日本物流新聞 (1月10日)



▼建設設備と配管工事 (12月5日, 1月5日)



来場メディア

	1月30日(火)	1月31日(水)	2月1日(木)	2月2日(金)	4日間合計
媒体数	22社	25社	12社	13社	72社
人数	30名	32名	18名	21名	101名
媒体数内訳 (社)					
テレビ	1	0	0	0	1
新聞	14	12	4	5	35
専門誌	3	5	4	3	15
WEB	3	4	1	2	10
その他	1	4	3	3	11

▼其他媒体一覧

媒体名	会社名/部署名
냉동공조저널 (HVAC&R Journal)	ACR MEDIA
Kharn	KHARN
coldchainnews	KHARN
SUUTA	株式会社SUUTA
Impact Japan	Impact Japan
展示会チャンネル	株式会社展示会営業マーケティング
共同デジタル	UN Geneva
ATMOsphere	atmosphere.cool
時事通信	時事通信社
MODECOM	MODECOM株式会社

▼SNS投稿

X (旧Twitter) ※過去開催時と同アカウントにて運用
 「ヒートパック&アールジャパン」 @hvacjraia

運用時期：2023年6月19日～2024年2月2日
 全ポスト(ツイート)数：19 02/15現在

No.	投稿日	内容	インプレッション数
1	23/06/19	早割告知	4,830
2	23/07/25	出展登録告知	487
3	23/12/11	来場者登録告知①	1,774
4	23/12/18	来場者登録告知②	640
5	24/01/22	特別講演 小池都知事決定	381
6	24/01/29	学生プログラム紹介映像	638
7	24/01/29	アワード受賞決定報告	305
8	24/01/29	アワード受賞決定報告(リプライ)	258
9	24/01/29	開催前日投稿	14,369
10	24/01/30	開会式投稿	313
11	24/01/30	プレミアムラウンジ紹介投稿	283
12	24/01/30	情報発信コーナー紹介投稿	305
13	24/01/31	2日目開催挨拶	261
14	24/01/31	セミナー紹介投稿	259
15	24/02/01	3日目開催挨拶	207
16	24/02/01	アワード発表投稿	214
17	24/02/02	最終日開催挨拶	163
18	24/02/02	小池都知事特別講演のご報告	160
19	24/02/02	最終日/お礼投稿	158

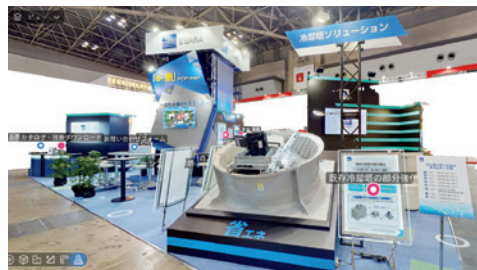
投稿(抜粋)

▼No.3 来場者登録告知①



バーチャルブース

個別に出展ブースを撮影し、「バーチャルブース」を公開いたしました。



荏原冷熱システム株式会社-株式会社荏原製作所



シュナイダーエレクトリック株式会社

▼No.12 情報発信コーナー紹介投稿



株式会社テストー



日立グローバルライフソリューションズ株式会社/
 日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社



不二熱学工業株式会社



一般社団法人
JRAIA 日本冷凍空調工業会
The Japan Refrigeration and Air Conditioning Industry Association

<https://www.jraia.or.jp>

次回開催のご案内

2026.1.27^{TUE}—1.30^{FRI}
ヒーバック&アール ジャパン2026
第44回冷凍・空調・暖房展

会場:東京ビッグサイト 主催:一般社団法人 日本冷凍空調工業会 

展示会についてのお問い合わせ

HVAC&R JAPAN 事務局

E-mail:info@hvac-r.jp